

- ・鈴木景二「松代藩の家臣由緒調査とその記録―『文政七年真田家家中出仕由緒書』―」（『松代―真田の歴史と文化―』第 23 号、2010 年）
- ・種村威史「天保期日光社参における宿城儀礼と奏者番」（『国史学』第 190 号、2006 年）
- ・『中野市誌 歴史編（後編）』中野市、1981 年
- ・『長野市誌 第三巻・歴史編・近世一』長野市、2001 年
- ・『長野市誌 第四巻・歴史編・近世二』長野市、2004 年
- ・『長野市誌 第五巻・歴史編・近代一』長野市、1997 年
- ・『長野市誌 第十三巻・資料編・近世』長野市、1997 年
- ・『長野県史 通史編・第四巻・近世一』長野県、1987 年
- ・『長野県史 通史編・第五巻・近世二』長野県、1988 年
- ・『長野県史 通史編・第六巻・近世三』長野県、1989 年
- ・『長野県史 通史編・第七巻・近代一』長野県、1988 年
- ・『長野県史 近世史料編・第七巻・一』長野県、1981 年
- ・『長野県史 近世史料編・第七巻・二』長野県、1981 年
- ・『長野県史 近世史料編・第七巻・三』長野県、1982 年
- ・『長野県史 近世史料編・第八巻・一』長野県、1975 年
- ・『長野県史 近世史料編・第八巻・二』長野県、1976 年
- ・『長野県史 近代史料編・第一巻・維新』長野県、1980 年
- ・（日本歴史地名大系）／日本歴史地名大系, ジャパンナレッジ（オンラインデータベース）
- ・（原田和彦、1998-1）／原田和彦「『真田家文書』について」（『信濃』第 50 巻第 4 号、1998 年）
- ・（原田和彦、1998-2）／原田和彦「『真田家文書』拾遺」（『信濃』第 50 巻第 11 号、1998 年）
- ・原田和彦「『木地蠟金御紋附御文庫』の文書類について」（『真田宝物館収蔵品目録 長野県宝・真田家文書（2）』松代文化施設等管理事務所、2005 年）
- ・（原田和彦、1997）／原田和彦「長野県宝『真田家文書』の基礎的考察―流入文書について」（真田宝物館『松代―真田の歴史と文化―』第 10 号、1997 年）
- ・原田和彦「真田家の印章について―「真田家文書」における位置―」（『松代―真田の歴史と文化―』第 11 号、1998 年）
- ・原田和彦「江戸時代における真田昌幸像」（小林計一郎編『真田昌幸のすべて』、新人物往来社、1999 年）
- ・（原田和彦、1999）／原田和彦「松代城の『城付諸道具』―真田家大名道具論（一）―」（『松代―真田の歴史と文化―』第 12 号、1999 年）
- ・（原田和彦、2000）／原田和彦「真田家伝来の大名道具と道具帳―真田家大名道具論（二）―」（『松代―真田の歴史と文化―』第 13 号、2000 年）
- ・（原田和彦、2008）／原田和彦「松代藩における文書の管理と伝来」（国文学研究資料館アーカイブズ研究系編『藩政アーカイブズの研究』岩田書院、2008 年）
- ・原田和彦「信濃国松代藩の江戸藩邸変遷史 稿」（『松代―真田の歴史と文化―』第 22 号、2008 年）
- ・原田和彦「真田家における典籍の集積と流出」（『松代―真田の歴史と文化―』第 23 号、2010 年）
- ・原田和彦「真田家伝来の典籍整理の一方向―松代真田家別邸とのかかわりから―」（『松代―真田の歴史と文化―』第 23 号、2010 年）
- ・原島陽一「真田家文書と松代藩家臣団の職制機構」（『史料館研究紀要』第 10 号、1978 年）

- ・原島陽一「宝物館所蔵真田家文書の特色と意義」(『松代—真田の歴史と文化—』第4号、1991年)
- ・原島陽一「明治三年の『職員録』」(『松代—真田の歴史と文化—』第7号、1994年)
- ・(降幡浩樹、1996)／降幡浩樹「松代災害関係年表」(『松代—真田の歴史と文化—』第9号、1996年)
- ・(降幡浩樹、1997)／降幡浩樹「史料目録による真田家史料群再構成への試論」(1994年度資料管理学研究会終了レポート、1995年)(本人許諾を得て、引用)
- ・(降旗浩樹、2005)／降旗浩樹「信州和紙の生産流通と御用紙(記録紙)」(国文学研究資料館アーカイブズ研究系「経営と文化に関するアーカイブズ研究」プロジェクト発表資料、2005年)
- ・(古川貞雄、2000)／古川貞雄「松代藩御勘定所元々役・御勘定役史料」(『市誌ながの』第7号、2000年)
- ・藤尾隆志・藪田貫「津田秀夫文庫文書目録4松代藩真田家大坂御用場関係文書について」(関西大学『博物館紀要』第12号、2008年)
- ・福田千鶴氏「近世領主文書の伝来と構造」(国文学研究資料館史料館編『アーカイブズの科学・下』柏書房、2003年)
- ・藤沢直枝『上田市史 下』信濃毎日新聞社、1940年
- ・『松代町史 上巻』松代町、1929年
- ・(松代藩災害史料1)／『松代藩災害史料 1』松代真田家文書勘定所元々日記抄 明和元年(1764)-安永4年(1775)／長野市誌編さん室編
- ・(松代藩災害史料2)／『松代藩災害史料 2』松代真田家文書勘定所元々日記抄 安永5年(1776)-安永9年(1780)／長野市誌編さん室編
- ・(松代藩災害史料3)／『松代藩災害史料 3』松代真田家文書勘定所元々日記抄 安永10年(天明元年1781)-天明4年(1784)／長野市誌編さん室編
- ・(松代藩災害史料4)／『松代藩災害史料 4』松代真田家文書勘定所元々日記抄 天明5年(1785)-寛政2年(1790)／長野市誌編さん室編、1998年
- ・(松代藩災害史料5)／『松代藩災害史料 5』松代真田家文書勘定所元々日記抄 寛政3年(1791)-寛政7年(1795)／長野市誌編さん室編、1998年
- ・(松代藩災害史料6)／『松代藩災害史料 6』松代真田家文書勘定所元々日記抄 寛政8年(1796)-寛政11年(1799) 古川貞雄、長野市誌編さん室、1998年
- ・(松代藩災害史料7)／『松代藩災害史料 7』松代真田家文書勘定所元々日記抄 寛政12年(1800)-享和3年(1803) 古川貞雄、長野市誌編さん室、1998年
- ・(松代藩災害史料8)／『松代藩災害史料 8』松代真田家文書勘定所元々日記抄 享和4年(文化元年、1804)-文化4年(1807)／長野市誌編さん室
- ・(松代藩災害史料9)／『松代藩災害史料 9』松代真田家文書勘定所元々日記抄 文化5年(1808)-文化8年(1811)／長野市誌編さん室編、1999年
- ・(松代藩災害史料10)／『松代藩災害史料 10』松代真田家文書勘定所元々日記抄 文化9年(1812)-文化11年(1814)、補遺 宝暦13年(1763)／長野市誌編さん室編、1999年
- ・(松代藩災害史料11)／『松代藩災害史料 11』松代真田家文書勘定所元々日記抄 文化13年(1816)-文政2年(1819)／長野市誌編さん室編、2000年
- ・(松代藩災害史料12)／『松代藩災害史料 12』松代真田家文書勘定所元々日記抄 文政3年(1820)-文政5年(1822) 長野市誌編さん室編、2001年
- ・(松代藩災害史料13)／『松代藩災害史料 13』松代真田家文書勘定所元々日記抄 文政6年(1823)-文政9年(1826)

長野市誌編さん室編、2002年

- ・(松代藩災害史料 14)／『松代藩災害史料 14』松代真田家文書勘定所元々日記抄 文政10年(1827)-文政13年(天保元年,1830)8月/長野市誌編さん室編、2002年
- ・(松代藩災害史料 15)／『松代藩災害史料 15』松代真田家文書勘定所元々日記抄 文政13年(天保元年,1830)9月-天保3年(1833)/長野市誌編さん室編、2003年
- ・(南隆哲、2011)／南隆哲「真田家文書」における文書管理と伝来—「御藏内日記書類下調」を素材として—(2010年度アーカイブズ・カレッジ長期修了論文、2011年)
- ・山中さゆり「近代における真田家資料の展示と整理—長岡助次郎資料から—」(『松代—真田の歴史と文化—』第11号、1998年)
- ・山中さゆり「真田家文書目録編成試論—研究の現状と展望—」(『松代—真田の歴史と文化—』第21号、2007年)
- ・山中さゆり「史料紹介「職掌階級調」について」(『松代—真田の歴史と文化—』第23号、2010年)
- ・吉永昭「藩財政についての基礎的研究(上)・(下)」(『史学研究』第55.56号、1954年)
- ・渡辺尚志「大名家文書の中の『村方文書』」(高木俊輔・渡辺浩一 編著『日本近世史料学研究—史料空間論への旅立ち—』北海道大学図書刊行会、2000年、のち渡辺尚志編『藩地域の構造と変容—信濃国松代藩地域の研究—』岩田書院、2005年に再録)
- ・渡辺尚志編『藩地域の構造と変容—信濃国松代藩地域の研究—』(岩田書院、2005年)
- ・渡辺尚志・小関悠一郎編『藩地域の政策主体と藩政—信濃国松代藩地域の研究Ⅱ』(岩田書院、2008年)

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
ほ			
1 真田家／家職／諸金銭勘定			
[御扶持受取通](明治2年9月～3年8月) 海沼辰男 ほ40～49まで巻込一括	明治2年巳	横半半・1冊	ほ40
[上東京旅日記](明治2年9月14日出宅～20日東京着までの日記・出金書上) 松代藩海沼姓 ほ40～49まで巻込一括	明治2年巳	横半半・1冊	ほ41
[在東京日識](明治2年9月14日～10月18日) 海沼賀前 ほ40～49まで巻込一括、巻末に「書籍出入」という項目あり	明治2年巳9月	横半半・1冊	ほ42
[在東京御賄雑用代受取扣](明治2年9月～明治3年8月) 海沼辰男 ほ40～49まで巻込一括	明治2年巳9月	横半半・1冊	ほ43
[在東京御飯米渡り方覚](明治2年9月着～明治3年8月8日出立) 海沼辰男 ほ40～49まで巻込一括	明治2年巳9月	横半半・1冊	ほ44
[在東必用](御執政等家中御手充金渡方帳) 海沼賀前 ほ40～49まで巻込一括、1丁は明治元年辰十二月付「御手充金渡方帳」の表紙	明治2年巳	横半半・1冊	ほ45
[帰邑雑誌](道中日記および金銭出入書上) 海沼賀前 ほ40～49まで巻込一括	明治3年午8月	横半半・1冊	ほ46
[帰邑旅日記](8月11日～18日) 海沼賀前 ほ40～49まで巻込一括	明治3年午8月	横半半・1冊	ほ47
[従武州板橋宿信州松代迄宿々駄賃帳](8月13日～18日) 松代藩海沼辰男内塚田與助 ほ40～49まで巻込一括	明治3年午8月	横長半・1冊	ほ48
[金銭請取覚帳](安中川越へ人足代等金銭受取、8月11日～16日) 廣田村與助→海沼辰男様 ほ40～49まで巻込一括	明治3年午8月	横半半・1冊	ほ49
(上京御用関係証文綴)		紙縫綴・10点	ほ38
信濃屋三之助金銭受取証文[覚](板橋持出人足持ち出し人足4人分金3分受取に付) 信濃屋三之助→上	8月12日	堅紙・1通	ほ38-1
蔵屋善助売上証文[覚](染あみ他代147匁5分受取) 蔵屋善助→海沼(辰男)様	午8月8日	横切継紙・1通	ほ38-2
おき丁緑三郎金銭受取証文[覚](裏庭代他残金1朱152匁受取に付) おき丁(沖町)緑三郎→上	8月7日	横切継紙・1通	ほ38-3
信濃屋三之助金銭受取証文[覚](松代までの道人足7両のうち5両受取に付) 信濃屋三之助→真田様御屋敷海沼(辰男)様	8月9日	堅紙・1通	ほ38-4
安中駅川境役人金銭受取証文[覚](川越人足10人分弁当代銭1貫文受取に付) 安中駅川境役人→	(明治3年)午8月15日	小切紙・1通	ほ38-5
[覚](蔵より矢代までの道中出金額3両3分3朱ト470文内訳書上)		横切継紙・1通	ほ38-6
丸竹屋代仲治郎売上証文[覚](白麻切直し代他代5両2朱165匁受取に付) (江戸芝赤羽根飯倉五丁目)丸竹屋代仲治郎→海沼(辰男)様	6月3日	横切紙・1通	ほ38-7
(追分から下戸倉までの両替相場書上)		横切紙・1通	ほ38-8
(本庄から沓掛までの両替相場書上)		横切紙・1通	ほ38-9
[覚](板橋から深谷までの両替相場書上)		横切紙・1通	ほ38-10
(諸品代金受取証文綴)		紙縫綴・44点	ほ39
(米代金メ16両2朱書上)		切紙・1通	ほ39-1
松屋吉兵衛金銭受取証文[覚](清水袖仕立代他6両3分2朱1	極月15日	横切継紙・1通	ほ39-2

ほ1 真田家/家職/諸金銭勘定

匆9分に付) 松や吉兵衛→海沼辰男様			
松屋吉兵衛金銭受取証文反古紙[覚](本玉袖代他3両3分2朱ト3匆2分に付) 松や吉兵衛→海沼(辰男)様 「反古」	正月10日	横切紙・1通	ほ39-3
松屋吉兵衛金銭受取証文[覚](御馬乗袴代他4両2分に付) 松や吉兵衛→海沼(辰男)様	11月15日	横切紙・1通	ほ39-4
松屋吉兵衛金銭受取証文[覚](袴仕立代他2朱580文に付) 松や吉兵衛→海沼(辰男)様	3月2日	横切継紙・1通	ほ39-5
松屋吉兵衛金銭受取証文[覚](羽織地仕立代5両ト2匆に付) 松や吉兵衛→海沼(辰男)様	4月25日	横切紙・1通	ほ39-6
松屋吉兵衛金銭受取証文[覚](黒八丈代他3分2朱余に付) 松や吉兵衛→海沼(辰男)様 綴外れ	極月18日	横切紙・1通	ほ39-7
松屋吉兵衛金銭受取証文[覚](嘉平次御袴代他10両2朱余に付) 松や吉兵衛→海沼(辰男)様 綴外れ	4月11日	横切継紙・1通	ほ39-8
松屋吉兵衛金銭受取証文[覚](単物仕立代20匆に付) 松屋吉兵衛→海沼(辰男)様	6月9日	横切紙・1通	ほ39-9
升屋常七金銭受取証文[覚](絹代4両に付) 升屋常七→上	正月13日	小切紙・1通	ほ39-10
青梅屋徳兵衛金銭受取証文[覚](袴地代他2両3歩ト1匆に付) (宇田川町)青梅屋徳兵衛→海沼辰男様	巳11月9日	横切継紙・1通	ほ39-11
丸竹屋代安蔵金銭受取証文[覚](単物代2両余に付) (江戸芝赤羽根飯倉五丁目)丸竹屋代安蔵→上様	4月13日	横切紙・1通	ほ39-12
丸竹屋代藤三郎金銭受取証文[覚](小袖直し代他両2分2朱248文に付) (江戸芝赤羽根飯倉五丁目)丸竹屋代藤三郎→上様	正月20日	横切紙・1通	ほ39-13
丸竹屋代唯蔵金銭受取証文[覚](鼠格子男胴着3両1分2朱に付) (江戸芝赤羽根飯倉五丁目)丸竹屋代唯蔵→上様	11月6日	横切紙・1通	ほ39-14
近江屋金銭受取証文[覚](紙入他代金残り2両1分に付) (山下町西側中程)近江屋→海沼辰男様	10月10日	横切紙・1通	ほ39-15
ゑひすや文七他一名金銭受取証文[覚](単物代他3両1分2朱ト416文に付) ゑひすや文七・元三郎→海野(辰男)様	5月3日	横切紙・1通	ほ39-16
河内屋吉兵衛金銭受取証文[覚](京織平袴仕立代他4両1分に付) (松村町)河内屋吉兵衛→上	4月13日	横切継紙・1通	ほ39-17
河内屋吉兵衛金銭受取証文[覚](越後縮仕立直し代に付) (松村町)河内屋吉兵衛→上	4月15日	横切紙・1通	ほ39-18
山鳥会所金銭受取証文[覚](レーフル1本代55匆に付) (東京日本橋釘店鳥善会處)山鳥会所→上	6月12日	横切紙・1通	ほ39-19
万屋七兵衛代愛之助金銭受取証文[覚](金1両1分に付) 萬屋七兵衛代愛之助→海沼辰男様	午3月2日	横切継紙・1通	ほ39-20
万屋七兵衛代愛之助金銭受取証文[覚](金5両に付) 萬屋七兵衛代愛之助→海沼辰男様	午2月4日	横切紙・1通	ほ39-21
大和屋民次郎金銭受取証文[覚](黒羅紗とんひ6両3分2朱に付) 大和屋民次郎→海沼(辰男)様	極月	横切継紙・1通	ほ39-22
山本源助金銭受取証文[覚](十露盤他代金1分3朱613文に付) (神明前御門角)山本源助→上	11月5日	横切継紙・1通	ほ39-23
内のや弥平次金銭受取証文[覚](康熙字典小本代7両に付) 内のや弥平次→海沼(辰男)様	11月6日	横切紙・1通	ほ39-24
道具屋藤七金銭受取証文[覚](惣桐厚板箆箆1棹代2両2朱に付) 道具屋藤七→上	巳12月4日	横切継紙・1通	ほ39-25
鳥屋善六金銭受取証文[覚](レーフル1本代3分2朱2匆5分に付) (東京日本橋釘店)鳥や善六→上	5月11日	横切紙・1通	ほ39-26
大黒屋喜兵衛金銭受取証文[覚](紺博多帯代他16両余に付)	10月8日	横切継紙・1通	ほ39-27

(両国通若松町)大黒屋喜兵衛→上			
大和屋民次郎金銭受取証文[覚](唐木綿代3両1分1朱に付) 大和や民次郎→海沼(辰男)様	極月大晦日	横切紙・1通	ほ39-28
こしま屋安兵衛金銭受取証文[覚](金2分2朱に付) (数寄屋 町三丁目)こしまや安兵衛→上	5月13日	横切紙・1通	ほ39-29
松屋吉兵衛金銭受取証文[覚](大織嶋衿仕立代他金2分3朱 124文に付) 松や吉兵衛→海沼(辰男)様	3月28日	横切紙・1通	ほ39-30
松屋吉兵衛金銭受取証文[覚](小袖仕立代他4両1分3朱余に 付) 松や吉兵衛→海沼(辰男)様	正月	横切紙・1通	ほ39-31
大和屋民次郎金銭受取証文[覚](極上の生金巾1疋代3両1分 2匁に付) (東京芝神明前宇田川町)大和屋民次郎→海沼(辰男)様	8月6日	横切紙・1通	ほ39-32
大和屋民次郎金銭受取証文[覚](萌黄ケツ1枚代1両3分2 朱に付) (東京芝神明前宇田川町)大和屋民次郎→海沼(辰男)様	8月6日	横切紙・1通	ほ39-33
某金銭受取証文(7枚分代4両3歩3朱442匁に付)		横切紙・1通	ほ39-34
中村屋栄助金銭受取証文[覚](鰹節代1両1分2朱余に付) 中 村屋栄助→上	8月7日	横切紙・1通	ほ39-35
かけや金銭受取証文[覚](品代6匁3分に付) かけや→上	8月7日	横切紙・1通	ほ39-36
伊勢屋吉右衛門金銭受取証文[覚](品代3朱に付) (江戸芝神 明前)いせや吉右衛門→上	8月6日	横切紙・1通	ほ39-37
武蔵屋長五郎金銭受取証文[覚](下駄代29匁8分に付) 武さ しや長五郎→上	8月6日	横切紙・1通	ほ39-38
八百勝金銭受取証文[覚](昆布他代金3分に付) (日本橋室町 二)八百勝→上	8月7日	横切紙・1通	ほ39-39
伊勢屋平助金銭受取証文[覚](砂糖代1両2朱に付) (江戸日 本橋室町一丁目)伊勢屋平助→上	8月6日	小切紙・1通	ほ39-40
□□屋金銭受取証文[覚](金花香代他3分2朱余に付) (江戸 芝神明前)□□や→上	8月6日	横切紙・1通	ほ39-41
榎本純達目録金受取証文[覚](目録金1両受取に付) 榎本純 達→海沼(辰男)君御使中 一部木版、朱印「榎本」	8月8日	横切紙・1通	ほ39-42
(金465両内訳勘定書)		横切紙・1通	ほ39-43
某売上証文[覚](短刀代他9両1分2朱224文受取に付)		横切紙・1通	ほ39-44

2 藩政／勤役／供奉

(供奉に関する家中の名面書)		堅折紙・1通	ほ15
----------------	--	--------	-----

3 藩政／家中／賞罰

(定才領小兵衛、御用状江戸にて取落不調法一件関係書類綴 天明元年4月～閏5月)		紙縫綴・10点	ほ79
[御用状江戸取落不調法一件](包紙) 定才領小兵衛→上	天明元年丑ノ4月	包紙・1点	ほ79-1
片岡唱他一名用状(定幸領小越町小兵衛紛失物不承知の旨 届出に付) 片岡唱・望月九郎右衛門→祢津要左衛門様・小川多次 様	(天明元年)4月29日	横切紙・1通	ほ79-2
板橋宿御出入岡右衛門他二名願書[以書付奉願上候](御荷 物穿鑿日延願に付) 板橋宿年寄茂右衛門・上赤塚村年寄伊三 郎・板橋宿御出入岡右衛門→真田伊豆守様御荷物御幸領古谷小兵衛	天明元年丑4月29日	堅紙・1通	ほ79-3

ほ3 藩政／家中／賞罰 4 藩政／家中／屋敷・地所 5 藩政／郡方／村町方／諸願書・取調

様			
宰領小兵衛申上書[口上覚](紛失荷物内訳に付) 宰領小兵衛→御賄所	(天明元年)丑4月29日	豎継紙・1通	ほ79-4
宰領小兵衛願書[口上覚](御用状紛失のため在所へ帰国願に付) 宰領小兵衛→御賄所	(天明元年)4月	豎紙・1通	ほ79-5
片岡唱伺書[口上覚](定宰領小兵衛在所郡方にて詮議願に付) 片岡唱→-	(天明元年)4月29日	横切継紙・1通	ほ79-6
片岡唱用状(小兵衛在所へ帰国願願書等添付に付) 片岡唱→ 祢津要左衛門様・小川多次様	(天明元年)4月29日	横切継紙・1通	ほ79-7
小越町定才領小兵衛申上書[乍恐以口上書申上候御事](御用送り証文入御状紛失御用捨願に付) 小越町定才領小兵衛→御蔵御番御衆中	天明元年丑5月	豎継紙・1通	ほ79-8
定才領小兵衛申上書[覚](御尋のため紛失才領荷物内訳届に付) 定才領小兵衛→御蔵番御衆中	(天明元年)閏5月5日	横切継紙・1通	ほ79-9
某申渡(定宰領小兵衛赦免申付の件各伺の通り申渡さるべき旨に付) -→郡奉行中	(天明元年)閏5月15日	横切継紙・1通	ほ79-10
三人用状(役方支配の者配物などの儀に付) 三人→-	7月	横切継紙・1通	ほ11
某用状(御役方物書御賞筋の儀に付)		横切継紙・1通	ほ12
(手附世話役賞与の儀に付飯島和平太他7名履歴綴並びに関係書類8点貼付) 付箋多数貼付、朱書あり、右肩1点仮綴、飯島和平太・立岩長兵衛・久保文左衛門・宮川丈左衛門・井口政吉・市川義市・渡辺喜久蔵・草川房吉・清水栄作・河崎千之助・今井清四郎の履歴	(明治2年)	豎半・1冊	ほ21
(賞与の儀に付三井孝右衛門他6名履歴綴並びに関係書類6点貼付) 付箋多数貼付、朱書あり、右肩1点仮綴、三井孝右衛門・浅井佐一郎・池田儀左衛門・太田直平・桜井欣之丞・岸田要右衛門・永原新之助	(明治2年巳)	豎半・1冊	ほ22
[御咎之記](家中の咎人に対する申し渡し次第並びに席次図) 図面朱書入、内題「御咎取計之記」	明治3年庚午2月	豎半・1冊	ほ17
[御咎之記](家中の咎人に対する申し渡し次第並びに席次図) 監察 図面朱書入、内題「御咎取計之記」、表紙貼紙「監察」	明治3年庚午2月	豎半・1冊	ほ19
(家中の咎人に対する申し渡し席次図) 図面朱書入	(明治)	豎半・1冊	ほ18

4 藩政／家中／屋敷・地所

佐川又左衛門他一名届書(佐川又左衛門小作地の一部を中島渡浪拝領の件同済に付) 佐川又左衛門・中島渡浪→- 裏打済、図面朱書入、裏書「天保六未年」	(天保6年)未3月	豎折紙・1通	ほ14
[評定所脇御小作地絵図面扣](評定所脇高橋権之丞居宅絵図) 朱書あり		31.4×49.5・1舗	ほ50

5 藩政／郡方／村町方／諸願書・取調

[田野口村外四拾三村手馬附越二付村々口留引合印鑑職方より相廻候付口留之者江相渡請取印判帳出置](袋) 寺内多宮	天保7年申2月	袋・1点	ほ8-1
[御印鑑御渡二付請印帳] 有旅村御口留室右衛門・田野口村御口留荘吉他11名・吉田村御口留肝煎十太夫→御郡御奉行所	天保7年申2月	横長半・1冊	ほ8-2
矢代村名主恒左衛門他七名申上書(問合のため矢代村久左衛門宅俳諧句合参会者取調に付) 矢代村名主恒左衛門・同断	弘化2年巳4月	横長半・1冊	ほ25

弥吉・組頭富左衛門他5名→御代官所 付札1ヶ所あり、以下は34まで句会一件書類			
(矢代村下横田村俳諧会差留の旨申渡案) 山寺源太夫等による付箋および朱書多数	(弘化2年)	横長半・1冊	ほ26
(山王宮献額のための俳諧会茶物等代金書上) 矢代村下横田村俳諧句合関係	(弘化2年)	横切継紙・1通	ほ27
御付人文太内々申上書[申上](矢代村久左衛門宅における句合差留後の様子に付) 御付人文太→-	(弘化2年)3月25日	横切継紙・1通	ほ28
多柑書状[申上](円福寺にて山王宮額面発句会定日御成賀延引願に付) 多柑→四方衆中 雨柳はほ344の定重の俳名	(弘化2年)4月	横切紙・1通	ほ29
[千曲園点式按披露句合](矢代村俳諧連摺物) (跋文:生坂屋安左衛門)→- 村名等加筆	(弘化2年)	横切紙・1通	ほ30
[山王宮廣前遍額](下横田村山王社への献額句合についての摺物) (寒岳園宗匠・更級菴宗匠撰)→-	(弘化2年)	横切紙・1通	ほ31
(矢代村・下横田村句合吟味の件に付岡嶋莊蔵用状一括 弘化2年3月～4月)		紙縫束・5点	ほ32
(紙縫)	(弘化2年)	紙縫・1点	ほ32-1
岡嶋莊蔵用状(下横田村産神社建替発句額奉納の儀に付) (岡嶋)莊蔵→(菅沼)弥惣右衛門様・(竹村)金吾様・(山寺)源太夫様 朱書あり、端裏書「一」廻状「下横田村一件」、虫損甚大	(弘化2年)3月□日	横切継紙・1通	ほ32-2
岡嶋莊蔵用状(矢代村・下横田村句合差止の件相談に付) (岡嶋)莊蔵→(菅沼)弥惣右衛門様・(竹村)金吾様・(山寺)源太夫様 端裏書「二」廻状「矢代村一件」	(弘化2年)3月24日	横切継紙・1通	ほ32-3
岡嶋莊蔵用状(下横田村句合催主呼出し方相談に付) (岡嶋)莊蔵→(菅沼)弥惣右衛門様・(竹村)金吾様・(山寺)源太夫様 端裏書「三」廻状	(弘化2年)3月26日	横切継紙・1通	ほ32-4
岡嶋莊蔵用状(矢代村・下横田村句合別紙名面人別並びに催主呼出し方相談に付) (岡嶋)莊蔵→(菅沼)弥惣右衛門様・(竹村)金吾様・(山寺)源太夫様 端裏書「四」廻状	(弘化2年)4月3日	横切継紙・1通	ほ32-5
(付箋)[先例](下真嶋村常右衛門等催会摺物差出一件申付書および北平林村源左衛門等御答同) 付箋朱書「先例」、朱書丸印あり	(弘化2年)	豎半・1冊	ほ33
(矢代村・下横田村句会一件村方申上書類綴 弘化2年3月～4月)		紙縫綴・5点	ほ34
矢代村名主弥吉他八名申上書[御尋ニ付乍恐以書付奉申上候(句会一件最初三役人宿久左衛門答書) 矢代村名主弥吉・同孝三郎・宿久左衛門他6名→郡御奉行所 端書書「矢代村」、「式印」の上の貼紙に「句会一件」加筆	弘化2年巳3月24日	豎半・1冊	ほ34-1
矢代村名主弥吉他七名願書[乍恐以書付御聴置奉願上候] (久左衛門宅における句合開催願) 矢代村名主弥吉・同孝三郎・組頭忠右衛門他5名→郡御奉行所 端書書「一印」	弘化2年巳3月24日	豎折紙・1通	ほ34-2
下横田村名主金右衛門他二名申上書[御尋ニ付乍恐以書付奉申上候](上横田村山王宮への献額催主お尋ねに付) 下横田村名主金右衛門・組頭源弥・長百姓大治郎→御代官所	弘化2年巳3月	豎折紙・1通	ほ34-3
定重他五名請書[乍恐以書付御請奉申上候](定重他2名句合の儀吟味中、農業の外他行差留に付) 定重・文右衛門子本吉・藤蔵他3名→郡御奉行所 端書書「他行留請書」	弘化2年巳4月11日	豎折紙・1通	ほ34-4
矢代村峯之助他二十一名請書[乍恐以書付御請奉申上候] (峯之助他13名句合の儀吟味中、農業の外他行差留に付) 矢代村峯之助・栄吉・桂治他19名→郡御奉行所 丁間に印あり、端書「他行留請書」	弘化2年巳4月11日	豎半・1冊	ほ34-5
(山中筋村々押込盗賊穿鑿御締筋申渡請証文添絵図面袋一括)		袋一括・8点	ほ77

ほ5 藩政/郡方/村町方/諸願書・取調 6 藩政/諸職/監察方/諸願書・取調

[山中筋村々押込盗賊有之為穿鑿同心共出役村々江御締筋申渡請証文ニ添差出候絵図面](袋)	慶応2年寅7月	袋・1点	ほ77-1
[新町村・里穂苅村・上條村・山上条村・下市場村・牧之嶋村・竹房村メ七ヶ村組合](絵図) 彩色、合図番小屋・高札場等記載		55.2×76.8・1舗	ほ77-2
(坪根村・倉並村・五十平村・橋詰村両組・古間村・岩草村6か村組合小屋等絵図)		54×74・1舗	ほ77-3
(有旅村・中山新田周辺合図場絵図)		62×50・1舗	ほ77-4
(瀬沼村・笹平村・大安寺村・五十里村・岩草村・平出村・古間村・五十平村・宮野尾村絵図)		28×36・1枚	ほ77-5
(軽井沢村・高野村周辺合図場絵図) 彩色		28×38・1枚	ほ77-6
(赤田村・田野口村・境新田村・氷熊村・入有旅村・三水今泉村・灰原村周辺合図番小屋絵図) 彩色		38×57・1舗	ほ77-7
(五ヶ村組合村山布施村・山村山村・青地村・山平林村・安庭村絵図) 五ヶ村組合村山布施村・山村山村・青地村・山平林村・安庭村→ - 彩色	慶応2年寅7月	56×74・1舗	ほ77-8
恩田靱負用状(作成・請取部分のみの断簡) 恩田靱負→岡嶋莊藏殿		横切紙・1通	ほ13
宇敷元之丞他一名用状(当藩城用材薪近々早流のため戸隠社領川辺村々取締依頼に付) 宇敷元之丞・草間一路→(戸隠社領役人)栗田要人様 紙縫共	9月13日	横切紙・1通	ほ57
某用状(御鷹方御焼印拝借取計りに付) 前欠	正月3日	横切紙・1通	ほ75

6 藩政/諸職/監察方/諸願書・取調

(市村渡船場乱妨一件関係書類綴 明治3年8月~12月)		紙縫綴・20点	ほ51
下目付申上書[申上](市村舟会所近辺乱妨者の趣穿鑿指令に付) 下目付→ - 「右村近辺并善光寺等江罷越風説取り繕此段申上候」裏打済	(明治3年)9月	横切紙・1通	ほ51-1
議事申上書(小林常男等処置風聞に付) 議事→ - 端裏書「御内密申上」	(明治3年)6月	横切紙・1通	ほ51-2
調役申上書(小林常男他領住居の趣、穿鑿仰渡に付) 調役→ - 「右之趣右村小森沢村辺江罷越風説取繕此段申上候以上」、虫損あり	(明治3年)9月	横切紙・1通	ほ51-3
御目付申上書(小林常男他3名処置方下案の当否に付) 御目付→ - 端裏書「小林常男等御処置方之義ニ付御尋申上」、下ヶ札あり	(明治3年)10月	横切紙・1通	ほ51-4
御勘定吟味申上書(小林常男他3名処置方に付) 御勘定吟味→ - 端裏書「小林常男等御答筋之義ニ付申上」	(明治3年)10月	横切紙・1通	ほ51-5
玉川調布願書(順次郎御内察に付) (玉川)調布→ -	(明治3年)10月	横切紙・1通	ほ51-6
玉川調布願書(次男順次郎処分の件慎置きに付) (玉川)調布→ -	(明治3年)10月	横切紙・1通	ほ51-7
御目付申上書(調布殿次男順次郎士官学校取立の件懸念に付) 御目付→ - 端裏書「別紙申上」	(明治3年)10月	横切紙・1通	ほ51-8
神平申上書(市村舟会所近辺乱妨者処置方評議に付) (衿津)神平→ -	(明治3年)10月22日	横切紙・1通	ほ51-9
議事申上書(小林常男他2名の件明白の御処置願に付) 議事→ - 端裏書「小林常男等御答筋之義ニ付申上」	(明治3年)12月	横切紙・1通	ほ51-10
久保三郎他一名申上書(小林常男等答筋当否伺に付) (久保)三郎・(白川)税→ - 端裏書「小林常男等御処置之義御尋申上」	(明治3年)8月	横切紙・1通	ほ51-11

神社郡政局他役方二局申上書(小林常男等御答筋関係書類御下の件御尋のため回答に付) 神社郡政局・計政局・市政局→ - 端裏書「小林幸男等御答筋之儀ニ付申上」	(明治3年)10月	横切紙・1通	ほ51-12
議事申上書(船場暴行一条捕込申立并権少参事再評等御下ヶ問合に付) 議事→ - 端裏書「小林常男等御処置方之義再議申上」	(明治3年)8月	横切紙・1通	ほ51-13
真田桜山用状(小林常男等処置方議長等向々相尋ね打出に付) (真田)桜山→(大熊)薫様	(明治3年)8月18日	横切紙・1通	ほ51-14
少参事申上書(小林常男他4名処置方に付) 少参事→ - ほ51-19の下案	(明治3年)8月	横切紙・1通	ほ51-15
小林常男他四名宛申付書案(市村渡頭一件処置に付) 端裏書「案」付箋多数	(明治3年)	横切紙・1通	ほ51-16
大熊薫用状(小林常男処置方議長見込別紙の通りに付) (大熊)薫→(真田)桜山様	(明治3年)10月12日	横切紙・1通	ほ51-17
桜山廻状(小林常男等処置方少参事の取調案文に付) (真田)桜山→(鎌原)溶水様・(赤沢)蘭溪様・(河原)均様他1名 端裏書「回牒 小常等御處置」	(明治3年)10月13日	横切紙・1通	ほ51-18
小林常男他四名宛申付書(市村渡頭一件処置に付) 裏打済	(明治3年)	横切紙・1通	ほ51-19
調役申上書(市村舟会所における狼藉者の件穿鑿指令に付) 調役→ - 裏打済	(明治3年)9月	横切紙・1通	ほ51-20
玉川順二郎申上書[覚](市村渡船場乱妨一件次第に付) 玉川順二郎	(明治3年)	豎半・1冊	ほ52
郡政捕亡宮川伊兵衛他三名申上書[申上](市村渡船場暴行者取計始末お尋ねに付) 郡政捕亡宮川伊兵衛他1名・御預所捕亡田中与総右衛門・元郡政捕亡岸田鏡治→郡政捕亡宮下ヶ札「鏡治申上書」	(明治3年)午6月	豎半・1冊	ほ53
(掛合村々借財高増減取調に付代官并勘定役口上書) 紙背包紙、上書「上」「次坂村」	(明治3年)午7月	横折紙・1通	ほ54

7 藩政／諸職／民事掛／申上書・諸願書

民事懸伺書并端裏朱印(去々巳年出来の招魂場登り口道造引[初願に付) 民事懸→ - 封筒上書「明治四年カ」、端裏書「招魂場登り口道筋御引初之義伺」	(明治4年)(未)9月4日	横切紙・1通	ほ36
(福島村仙左衛門手寄借入金返済関係書類一括)		紙縫一束・2点	ほ58
野中喜左衛門内々申上書并民事懸添伺貼紙(福島村仙左衛門手寄借入金返済のため御繰替願に付) 野中喜左衛門→(民事懸) 端裏書「須坂藩下綿内村等御借入金返済之義申上」	(明治4年)5月	横切紙・1通	ほ58-1
福島村仙左衛門願書(辰年夏中借入金返金に付) 福島村仙左衛門→野中喜左衛門様	(明治4年)正月29日	横切紙・1通	ほ58-2
(杓野村奥御林境界定掛入料金御下金願一件関係書類一括)		国立資料館封筒一括・10点	ほ78
(館三郎下金歎願関係書類綴)		紙縫綴・4点	ほ78-1
三沢清美申上書(館三郎へ下金願に付) 三沢清美→ - 端裏書「館三郎御下金歎願之義ニ付尚又申上」、下ヶ札あり	西9月	横切紙・1通	ほ78-1-1
三沢清美申上書(三郎取替金元金・下金願に付) (三沢清美)→ - 端裏書「去年申立写」		横切紙・1通	ほ78-1-2
館三郎願書(地続上地払下場所入札相成り、杓野奥御林境界定掛入料金下渡願に付) 館三郎→ - 端裏書「杓野奥御林境界立入料御下金願」	西9月26日	横切紙・1通	ほ78-1-3
館三郎願書(昨9月申し上げの金高下渡願に付) 館三郎→ -	戌1月16日	横切紙・1通	ほ78-1-4

ほ7 藩政／諸職／民事掛／申上書・諸願書 8 藩政／諸職／兵政局・軍事局／申上書・諸願書

端裏書「杳野奥御林境立御入料御下金願」			
監督申上書(館三郎へ金高尋ねるべきに付) 監督→ - ほ78-1に78-2・3巻込、端裏書「館三郎儀御尋付申上」	11月27日	横切紙・1通	ほ78-2
(館三郎下金歎願関係書類紙繕一括) ほ78-1に78-2・3巻込(紙繕)		紙繕束・5点	ほ78-3
		紙繕・1点	ほ78-3-1
三沢清美内々申上書(館三郎歎願申立の件余儀なき事情の旨に付) (三沢)清美→ - 端裏朱書「十」端裏書「館三郎歎願之義ニ付御内々申上」	10月	横切紙・1通	ほ78-3-2
三沢清美申上書(館三郎下金願の件別紙申上に付) 三沢清美→ - 端裏書「館三郎御下金之儀尚又歎願ニ付申上」	戌1月	横切紙・1通	ほ78-3-3
三沢清美申上書(館三郎下金歎願の件考慮願に付) 三沢清美→ - 端裏書「館三郎御下金歎願之義申上」	1月	横切紙・1通	ほ78-3-4
館三郎恩賞書上書(館三郎杳野村山林凶面取調尽力のため裕野羽織賞与に付) 端裏書「御書付写」	(明治4年)辛未9月12日	横切紙・1通	ほ78-3-5

8 藩政／諸職／兵政局・軍事局／申上書・諸願書

(出動兵士功罪帰発等証文綴 明治4年)		紙繕綴・32点	ほ24
某伺書并付札(小荷駄方附属安岡甚八他18名被下口の儀に付並びに酒井弥太郎他1名分名面脱落の旨付札) 端裏書「被下方相違人別伺」		横切紙・1通	ほ24-1
某用状(小員の事軍事掛りに付)		小切紙・1通	ほ24-2
某用状(隊入卒頭判の者人数取調の旨取扱に付)		横切紙・1通	ほ24-3
(金児隊隊員名面書)		横切紙・1通	ほ24-4
(半田吉五郎他52名名面書) 朱書あり		横切紙・1通	ほ24-5
(6月より凱陣まで、平塚三郎治他1名名面書)		小切紙・1通	ほ24-6
(一等二番隊から二等六番隊名面書)		横切紙・1通	ほ24-7
(一等二番隊から二等六番隊隊員名面書) ほ-24-9と同文異筆		横長半・1冊	ほ24-8
(一等二番隊から二等六番隊隊員名面書) ほ-24-9と同文異筆		横長半・1冊	ほ24-9
(組員・小頭名面書) 小頭中村喜市他17名名面書		横切紙・1通	ほ24-10
(組員・小頭名面書) 同形態、異筆3通が巻込一括、片岡茂作組宮下文之助他15名・小頭山川千二郎他15名・宮尾半之助組坂口寿吉他7人名面書の3通		横折紙・3通	ほ24-11
(牧野隊一件に付証蓮寺にて集会等にて周旋尽力の事)		横切紙・1通	ほ24-12
(清水家初代量右衛門より四代弥兵衛勤方履歴)		横切紙・1通	ほ24-13
(清水荘左衛門勤方履歴)	(明治)	横切紙・1通	ほ24-14
[別紙申上](包紙) 松本忠右衛門・市川義市	(明治4年辛未10月)	包紙・1点	ほ24-15-1
松本忠右衛門他一名申上書(別紙申上に付) 松本忠右衛門・市川義市→ -	(明治4年)辛未10月	切紙・1通	ほ24-15-2
[除隊御願](包紙) 山口良之助	(明治4年辛未10月)	包紙・1点	ほ24-16-1
山口良之助願書(疝積のため一等二番隊除隊願) 卒勇之助悴一等二番隊山口良之助→伍長御中「医師吉原一庵」を「吉原一庵」に貼紙訂正	(明治4年)辛未10月	横切紙・1通	ほ24-16-2
小平次用状(山口良之助病気のため銃隊除隊申渡に付) 小平次→(北沢)冠岳様	(明治4年)辛未10月4日	横切紙・1通	ほ24-17

ほ8 藩政／諸職／兵政局・軍事局／申上書・諸願書 9 藩政／財政／勘定所／諸用状 10 藩政／財政／勘定所／拝借掛

河口中尉用状(副隊長廃止後の取扱に付) 河口中尉→軍事掛少参事御中	9月29日	横切継紙・1通	ほ24-18
大属用状(使部北村喜三郎立帰の儀取計等に付) 大属→銃兵副隊長補御中 端裏書「九月廿七日」	9月21日	横切継紙・1通	ほ24-19
戊辰戦争御賞書付文面書上(上等・中等・討死之分等毎の文案) 朱書あり		横切継紙・1通	ほ24-20
三井孝右衛門内々申上書(御答条の内2人の名面不弁のため問合せ御流し願に付) 三井孝右衛門→-	5月	横切継紙・1通	ほ24-21
矢野倉謙兵衛用状(足軽名面並びに組名等相違の分問合に付) (矢野倉)謙兵衛→(根井)小右衛門様	10月24日	横切継紙・1通	ほ24-22
某用状(教練の者兵隊用立て兼ねる節の取計方等に付)		小切紙・1通	ほ24-23
某申渡(番組什長名公撰に付)		横切継紙・1通	ほ24-24
某用状(給禄渡方来申年も当年の通り頼に付)	(未)	横切継紙・1通	ほ24-25
某申渡(戊辰の夏越州出張等大儀のため御賞2石3ヶ年下付に付) -→樋口旗之助御借人国三郎組池田栄十郎 裏書「池田栄十郎」「統兵小隊長」	12月29日	横切継紙・1通	ほ24-26
宮本直左衛門控書(皆勤等に付御賞下付45人名面書) 宮本直左衛門→-		横折紙・1通	ほ24-27
大沢佐左衛門組倉田源太郎他四名願書[口上覚](去辰上京御奉公のため御賞下付に付) 大沢佐左衛門組倉田源太郎・倉嶋鶴右衛門組組谷豫一郎・中條賀助組坂口栄太郎他2名→池田儀左衛門殿・山崎栄作殿	明治3年午2月	縦継紙・1通	ほ24-28
中澤平兵衛親類岸田繁左衛門組藤次郎他一名歎願書[乍恐口上書を以御継り奉歎願候](親類中澤半兵衛不審の件処分に付) 中澤平兵衛親類岸田繁左衛門組藤次郎・新小銃組三郎→御割番所	明治3年午6月12日	縦継紙・1通	ほ24-29
市川義市親類太田直一郎組峯太郎他一名歎願書[乍恐以書付御継り奉歎願候](親類市川義市先般五小隊願立の件処分に付) 市川義市親類太田直一郎組峯太郎・右同断立岩才治→御割番所	明治3年午6月	縦継紙・1通	ほ24-30
連名申上書写(兵制改正の件評議に付) 連名 天右仮綴	(明治)11月	豎半・1冊	ほ20

9 藩政／財政／勘定所／諸用状

関田荘助返書(勘定所付弁治郎帰京のため先触の件伺等に付) (関田)荘助→(水野)清右衛門様 端裏書「辰三月十八日附返書」,ほ59~69巻込一括	(慶応4年)辰3月5日	横切継紙・1通	ほ63
関田荘助用状(上祖山村久米太悴仲之助上京のため駒村氏と諸事連絡に付) (関田)荘助→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様 ほ59~69巻込一括	(慶応4年)8月21日	横切継紙・1通	ほ64
関田荘助用状(去卯年中京都出入の者等へ扶持方代金渡方に付) (関田)荘助→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様 端裏書「辰十月十日達」,ほ59~69巻込一括	(慶応4年)辰8月15日	横切継紙・1通	ほ65
関田荘助用状(扶持代金69両1分2朱3匁1分9厘、大黒屋幸蔵への為替并正金送金願に付) (関田)荘助→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様 ほ59~69巻込一括	(慶応4年)8月15日	横切継紙・1通	ほ66

10 藩政／財政／勘定所／拝借掛

(石代金書上綴) 「拝借方掛り」「初方掛り」など		紙縫綴・5点	ほ3
--------------------------	--	--------	----

ほ10 藩政/財政/勘定所/拝借掛 11 藩政/財政/勘定所/切米渡

(小林友之丞分取金関係書類綴)		紙繕・2点	ほ4
(石代金書上綴) 内5点は白紙		紙繕綴・6点	ほ7
[丑年](細田久七等47名分名面書)	(丑)	横切紙綴・1通	ほ9

11 藩政/財政/勘定所/切米渡

(切米・扶持米・被下米受取渡証文綴 文久3年1月～元治元年4月)		紙繕綴・50点	ほ23
[御印鑑証文入](表紙) 初方掛→-	文久3年亥1月	堅切紙・1通	ほ23-1
大内源之助他一名切米受取渡証文[覚](大代本詰足軽切米 16俵受取の上支給に付) 大内源之助・立岩孝左衛門/(奥 印)字敷元之丞/(奥印)吉野芳馬/(奥印)草間一路→磯田音門殿・長 谷川三郎兵衛殿・草間一路殿 貼紙訂正2ヶ所	文久3年亥6月	堅紙綴・1通	ほ23-2
立岩孝左衛門他一名切米受取渡証文[覚](本割番詰小頭切 米12俵受取の上支給に付) 立岩孝左衛門・中沢忠吾/(奥 印)字敷元之丞/(奥印)吉野芳馬/(奥印)草間一路→磯田音門殿・長 谷川三郎兵衛殿・草間一路殿 奥印が長谷川三郎兵衛から草間一路 に貼紙で訂正	文久3年亥6月	堅紙綴・1通	ほ23-3
中沢忠吾他一名切米受取渡証文[覚](真田志摩出府借人詰2 人分切米16俵受取の上支給に付) 中沢忠吾・御切米懸小頭 高橋龍左衛門/(奥印)鹿野伴治/(奥印)柿崎良作/(奥印)斎藤友衛 →磯田音門殿・成澤勘左衛門殿・斎藤友衛殿	文久3年亥10月	堅紙綴・1通	ほ23-4
中沢忠吾他一名切米受取渡証文[覚](小山田壱岐借人詰2人 分切米16俵受取の上支給に付) 中沢忠吾・御切米懸小頭高 橋龍左衛門/(奥印)鹿野伴治/(奥印)窪田半弥/(奥印)斎藤友衛→ 磯田音門殿・成澤勘左衛門殿・斎藤友衛殿	文久3年亥10月	堅紙綴・1通	ほ23-5
大野健左衛門他一名切米受取渡証文[覚](増本詰足軽6人分 切米16俵受取の上支給に付) 大野健左衛門・中沢忠吾/ (奥印)竹田小左衛門/(奥印)柿崎良作/(奥印)斎藤友衛→磯田音門 殿・成澤勘左衛門殿・斎藤友衛殿 請取が長谷川三郎兵衛から斎藤友 衛に貼紙で訂正	文久3年亥9月	堅紙綴・1通	ほ23-6
割番小頭成本栄左衛門他二名切米受取渡証文[覚](飛脚才 領組16人上納分切米16俵受取の上支給に付) 割番小頭 成本栄左衛門・中沢忠吾・荒井弥平/(奥印)竹内小左衛門/(奥印)田 澤廉助/(奥印)草間一路→磯田音門殿・成澤勘左衛門殿・長谷川三郎 兵衛殿他1名 奥印が長谷川三郎兵衛から草間一路に貼紙で訂正	文久3年亥12月	堅紙綴・1通	ほ23-7
割番小頭成本栄左衛門他二名切米受取渡証文[覚](飛脚才 領組16人上納分11月12月渡扶持方13俵受取の上支給に 付) 割番小頭成本栄左衛門・中沢忠吾・荒井弥平/(奥印)竹内小左 衛門/(奥印)田澤廉助/(奥印)草間一路→磯田音門殿・成澤勘左衛 門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名 奥印が長谷川三郎兵衛から草間一路 に貼紙で訂正	文久3年亥12月	堅紙綴・1通	ほ23-8
割番小頭小山繁八他一名切米受取渡証文[覚](元メ小頭酒 井渡七臨時急出府詰料14俵受取の上支給に付) 割番小 頭小山繁八・大内源之助/(奥印)一場茂右衛門/(奥印)斎藤友衛→ 磯田音門殿・斎藤友衛殿 請取が長谷川三郎兵衛から斎藤友衛に貼 紙で訂正	文久3年亥9月	堅紙綴・1通	ほ23-9
春日安治他一名賄料受取渡証文[覚](上山田村他4か村御林 へ道橋付等伐出御用出役手当15俵4斗4升受取の上支給 に付) 春日安治・吉池與市/(奥印)祐津繁人・三澤刑部丞/(奥 印)倉田三之助/(奥印)長谷川三郎兵衛→山寺源太夫殿・磯田音門 殿・長谷川三郎兵衛殿他1名	文久3年亥3月	堅紙綴・1通	ほ23-10
立岩孝左衛門他一名被下米上納証文[覚](真田志摩出府借 人詰2人分被下米1斗6升6合7勺上納に付) 立岩孝左衛 門・大野健左衛門/(奥印)矢野茂/(奥印)倉田三之助/(奥印)斎藤	元治元年子4月	堅紙綴・1通	ほ23-11

友衛→磯田音門殿・成澤勘左衛門・長谷川三郎兵衛殿他2名			
鈴木市之丞切米受取渡証文[覚](御駕籠嶋田弥左衛門他11名分切米粉77俵2斗5升受取の上支給に付) 鈴木市之丞(奥印)岩下半兵衛(奥印)中島波之助(奥印)長谷川三郎兵衛→磯田音門殿・成澤勘左衛門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名	文久3年亥12月	横切継紙・1通	ほ23-12
鈴木市之丞切米受取渡証文[覚](御挟箱伝左衛門他3名・御道具吉蔵他3名分切米粉40俵受取の上支給に付) 鈴木市之丞(奥印)岩下半兵衛(奥印)中島波之助(奥印)長谷川三郎兵衛→磯田音門殿・成澤勘左衛門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名 ㄇの俵数を付箋で訂正	文久3年亥12月	横切継紙・1通	ほ23-13
鈴木市之丞切米受取渡証文[覚](御挟箱竹三郎他1名分切米粉10俵受取の上支給に付) 鈴木市之丞(奥印)岩下半兵衛(奥印)中島波之助(奥印)長谷川三郎兵衛→磯田音門殿・成澤勘左衛門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名	文久3年亥12月	横切継紙・1通	ほ23-14
鈴木市之丞切米受取渡証文[覚](御駕籠高橋岩蔵他4名分切米粉20俵受取の上支給に付) 鈴木市之丞(奥印)岩下半兵衛(奥印)中島波之助(奥印)長谷川三郎兵衛→磯田音門殿・成澤勘左衛門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名	文久3年亥12月	横切継紙・1通	ほ23-15
鈴木市之丞切米受取証文[覚](御道具宮下吉左衛門他3名御挟箱竹三郎他1名・御駕籠高橋岩蔵他8名分切米粉126俵7升7勺受取に付) 鈴木市之丞(奥印)岩下半兵衛(奥印)中島波之助(奥印)長谷川三郎兵衛→磯田音門殿・成澤勘左衛門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名	文久3年亥12月	横切継紙・1通	ほ23-16
松寄栄三郎切米受取証文[覚](切米粉2俵受取に付) 松寄栄三郎(奥印)安藤右膳・上原弘衛・金井弥惣左衛門他1名(奥印)長谷川三郎兵衛→宮本慎助殿・春山喜平治殿 白紙付箋、奥印は3名に貼紙で吉村左織を加えた訂正	文久3年亥12月	縦継紙・1通	ほ23-17
伊木億右衛門切米受取証文[覚](切米粉2俵受取に付) 伊木億右衛門(奥印)安藤右膳・上原弘衛・金井弥惣左衛門他1名(奥印)長谷川三郎兵衛→宮本慎助殿・春山喜平治殿	文久3年亥12月	縦継紙・1通	ほ23-18
御厩小頭稲葉恒作他二名切米受取渡証文[覚](御口之者源兵衛分詰番出府切米粉29俵3斗1升1合5勺受取の上支給に付) 御厩小頭稲葉恒作・小池六左衛門・金児富之丞(奥印)竹村熊三郎(奥印)中村鎮蔵(奥印)長谷川三郎兵衛→郡御奉行所 裏打済	文久3年亥5月	横切継紙・1通	ほ23-19
御厩小頭金児富之丞他二名切米受取渡証文[覚](御口之者吉作他1名分詰番出府帰り切米粉17俵8升5合受取の上支給に付) 御厩小頭金児富之丞・小池六左衛門・稲葉恒作(奥印)竹村慶治郎(奥印)鈴木富治(奥印)長谷川三郎兵衛→郡御奉行所 裏打済	文久3年亥3月	横切継紙・1通	ほ23-20
御厩小頭小池六左衛門他一名切米受取渡証文[覚](御厩小頭金児富之丞他御口之者11名分切米粉60俵受取の上支給に付) 御厩小頭小池六左衛門・稲葉恒作(奥印)竹村半蔵・竹村慶治郎(奥印)吉野芳馬(奥印)長谷川三郎兵衛→郡御奉行所	文久3年亥12月	横切継紙・1通	ほ23-21
御厩小頭金児富之丞他二名切米受取渡証文[覚](御口之者万助他1名分京都詰番切米粉29俵3斗1升1合5勺受取の上支給に付) 御厩小頭金児富之丞・小池六左衛門・稲葉恒作(奥印)竹村熊三郎→郡御奉行所 後欠	文久3年亥6月	横切継紙・1通	ほ23-22
御厩小頭金児富之丞他二名切米受取渡証文[覚](御口之者由之助分詰番帰り切米粉8俵2斗9升2合5勺受取の上支給に付) 御厩小頭金児富之丞・小池六左衛門・稲葉恒作(奥印)竹村熊三郎(奥印)中村鎮蔵(奥印)長谷川三郎兵衛→郡御奉行所	(文久3年)亥5月	横切継紙・1通	ほ23-23
小納戸森太他一名被下米受取証文[覚](小納戸森太他1名詰番出府被下粉40俵受取に付) 小納戸森太・同与助(奥印)水井市治・佐川又左衛門(奥印)高坂守之助(奥印)長谷川三郎兵衛→郡御奉行所	文久3年亥2月	横切継紙・1通	ほ23-24
小納戸与助下付米受取渡証文[覚](小納戸北沢林左衛門詰番出府下付粉10俵受取の上支給に付) 小納戸与助(奥印)	文久3年亥2月	横切継紙・1通	ほ23-25

ほ 11 藩政／財政／勘定所／切米渡

水井市治・佐川又左衛門／(奥印)長谷川三郎兵衛→郡御奉行所			
御厩小頭金児富之丞他二名切米受取渡証文[覚](御口之者善平他1名分太田陣屋詰切米粉38俵1斗4合受取の上支給に付) 御厩小頭金児富之丞・小池六左衛門・稲葉恒作／(奥印)竹村半蔵／(奥印)吉野芳馬→郡御奉行所	文久3年亥9月	横切継紙・1通	ほ23-26
御厩小頭金児富之丞他二名切米受取渡証文[覚](御口之者幸藏他1名分太田陣屋詰廻り切米粉17俵8升5合受取の上支給に付) 御厩小頭金児富之丞・小池六左衛門・稲葉恒作／(奥印)竹村半蔵／(奥印)吉野芳馬／(奥印)斎藤友衛→郡御奉行所	文久3年亥9月	横切継紙・1通	ほ23-27
御厩小頭金児富之丞他二名切米受取渡証文[覚](御厩小頭金児富之丞・御口之者嘉作分參府御供切米粉46俵2斗4升5合8勺受取の上支給に付) 御厩小頭金児富之丞・小池六左衛門・稲葉恒作／(奥印)竹村半蔵／(奥印)吉野芳馬／(奥印)斎藤友衛→郡御奉行所	文久3年亥10月	横切継紙・1通	ほ23-28
長泉寺供養初代金受取証文[覚](格段御省略のため供養初減引残り代金1両3分9匁2分8厘受取に付) 長泉寺→宮本慎助殿・春山喜平治殿	文久3年亥12月	横切継紙・1通	ほ23-29
蓮花定院金子受取証文[覚](寄附米物成金14両11匁3分5厘受取に付) 蓮花定院→真田信濃守様御役人佐藤安喜様	文久3年癸亥正月	堅紙・1通	ほ23-30
京都御用達海老屋定八金子受取証文[御請書](戊午扶持方2人分玄米3石5斗4升代金3両2朱2匁1分4厘) 京都御用達海老屋定八→宮本慎助様・春山磯治様・春山喜平治様	文久3年亥正月29日	横折紙・1通	ほ23-31
打沢村惣右衛門被下初受取証文[覚](当亥被下初2俵2斗5升受取に付) 打沢村惣右衛門→郡御奉行所	文久3年亥12月	堅紙・1通	ほ23-32
長谷寺供養初代金受取証文[覚](格別御省略のため供養初減引残り代金2両3分6匁4分4厘受取に付) 長谷寺→宮本慎助殿・春山磯治殿・春山喜平治殿	文久3年癸亥12月	堅紙・1通	ほ23-33
岡本松兵衛金子受取証文[覚](戊午玄米17人扶持代金26両3分6匁9分6厘受取に付) 岡本松兵衛→松代御役所	文久2年戌12月	堅紙・1通	ほ23-34
伊東嘉左衛門他一名扶持米受取証文[覚](奥番組敬治・恒五郎分御前様付女中江戸出府付添立帰手当初4俵受取の上支給に付) 伊東嘉左衛門・御切米懸小頭深沢喜三郎／(奥印)一場茂右衛門／(奥印)吉野芳馬／(奥印)長谷川三郎兵衛→山寺源太夫殿・磯田音門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名 御切米小頭を貼紙で深沢に訂正	文久3年亥3月	堅紙・1通	ほ23-35
伊東嘉左衛門他一名切米受取証文[覚](定府源蔵分当亥切米粉5俵受取の上支給に付) 伊東嘉左衛門・中沢忠吾／(奥印)一場茂右衛門／(奥印)長谷川三郎兵衛→山寺源太夫殿・磯田音門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名	文久3年亥3月	堅紙・1通	ほ23-36
割番小頭洪沢平作他一名被下初上納証文[覚](鎌原石見出府借人2名分被下物残初8俵上納に付) 割番小頭洪沢平作・中沢忠吾／(奥印)春原織右衛門／(奥印)柿崎良作／(奥印)長谷川三郎兵衛→成沢勘左衛門殿・長谷川三郎兵衛殿 宛所磯田音門を貼紙で抹消	文久3年亥8月	堅紙・1通	ほ23-37
割番小頭成本栄左衛門他一名切米受取渡証文[覚](長谷川三郎兵衛立帰出府道中借人手当金2分分初1俵5升受取の上支給に付) 割番小頭成本栄左衛門・中沢忠吾／(奥印)竹内小左衛門／(奥印)田澤廉助／(奥印)草間一路→磯田音門殿・成沢勘左衛門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名 奥印の長谷川三郎兵衛を草間一路に貼紙訂正	文久3年亥12月	堅紙・1通	ほ23-38
割番小頭成本栄左衛門他一名切米受取渡証文[覚](大内源之助・斎藤房吉分御供小頭・足輕御供被下銀60匁受取の上支給に付) 割番小頭成本栄左衛門・中沢忠吾／(奥印)竹内小左衛門／(奥印)田澤廉助／(奥印)草間一路→磯田音門殿・成沢勘左衛門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名 奥印の長谷川三郎兵衛を草間一路に貼紙訂正	文久3年亥12月	堅紙・1通	ほ23-39
割番小頭成本栄左衛門他二名切米受取渡証文[覚](足輕切	文久3年亥12月	堅紙・1通	ほ23-40

米1614俵受取の上支給に付) 割番小頭成本栄左衛門・中沢忠吾・御切米小頭高橋龍左衛門／(奥印)竹内小左衛門／(奥印)草間一路→磯田音門殿・成澤勘左衛門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名 奥印の長谷川三郎兵衛を草間一路に貼紙訂正、宛所貼紙で成澤に訂正			
割番小頭成本栄左衛門他二名切米受取渡証文[覚](足軽増人数分手当粉54俵受取の上支給に付) 割番小頭成本栄左衛門・中沢忠吾・御切米小頭高橋龍左衛門／(奥印)竹内小左衛門／(奥印)草間一路→磯田音門殿・成澤勘左衛門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名 奥印の長谷川三郎兵衛を草間一路に貼紙訂正	文久3年亥12月	縦継紙・1通	ほ23-41
割番小頭成本栄左衛門他一名切米受取渡証文[覚](新右衛門組喜市他1名分玉川左門借人詰切米粉16俵受取の上支給に付) 割番小頭成本栄左衛門・中沢忠吾／(奥印)竹内小左衛門／(奥印)柿崎良作／(奥印)草間一路→山寺源太夫殿・磯田音門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名	文久3年亥2月	縦継紙・1通	ほ23-42
割番小頭深沢喜三郎他一名切米受取渡証文[覚](金蔵組逸作他1名分鎌原石見借人詰切米粉16俵受取の上支給に付) 割番小頭深沢喜三郎・中沢忠吾／(奥印)竹内小左衛門／(奥印)入弥左衛門／(奥印)草間一路→山寺源太夫殿・磯田音門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名	文久3年亥3月	縦継紙・1通	ほ23-43
松原掛小頭深沢喜三郎他一名切米受取渡証文[覚](松原者100名分切米粉800俵受取の上支給に付) 松原掛小頭深沢喜三郎・同小山繁八／(奥印)鹿野伴治／(奥印)柿崎良作／(奥印)長谷川三郎兵衛→山寺源太夫殿・磯田音門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名	文久3年亥正月	縦継紙・1通	ほ23-44
大野健左衛門他一名切米受取渡証文[覚](御用詰足軽25名分切米粉200俵受取の上支給に付) 大野健左衛門・御切米掛小頭小山繁八／(奥印)鹿野伴治／(奥印)柿崎良作／(奥印)長谷川三郎兵衛→山寺源太夫殿・磯田音門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名	文久3年亥正月	縦継紙・1通	ほ23-45
大野健左衛門他一名切米受取渡証文[覚](本詰辻の内先立4名分切米粉32俵受取の上支給に付) 大野健左衛門・御切米掛小頭小山繁八／(奥印)鹿野伴治／(奥印)柿崎良作／(奥印)長谷川三郎兵衛→山寺源太夫殿・磯田音門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名	文久3年亥正月	縦継紙・1通	ほ23-46
大野健左衛門他一名切米受取渡証文[覚](元ノ詰小頭竹内泰助分切米粉14俵受取の上支給に付) 大野健左衛門・御切米掛小頭小山繁八／(奥印)鹿野伴治／(奥印)柿崎良作／(奥印)長谷川三郎兵衛→山寺源太夫殿・磯田音門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名	文久3年亥正月	縦継紙・1通	ほ23-47
長谷川藤左衛門切米受取渡証文[覚](御挟箱春原増右衛門他3名・御道具吉蔵他3名分出府切米粉68俵3斗4升受取の上支給に付) 長谷川藤左衛門／(奥印)岩下半兵衛／(奥印)中島波之助／(奥印)斎藤友衛→磯田音門殿・成澤勘左衛門殿・長谷川三郎兵衛殿他2名 「合粉」を「小以」に貼紙訂正	文久3年亥10月	縦継紙・1通	ほ23-48
長谷川藤左衛門切米受取渡証文[覚](御駕籠嶋田弥左衛門他11名詰番出府切米粉84俵2斗8升7合6夕受取の上支給に付) 長谷川藤左衛門／(奥印)岩下半兵衛／(奥印)中島波之助／(奥印)斎藤友衛→磯田音門殿・成澤勘左衛門殿・長谷川三郎兵衛殿他2名 「合粉」を「小以」に貼紙訂正	文久3年亥10月	縦継紙・1通	ほ23-49
立岩孝左衛門他一名切米受取渡証文[覚](本割番詰小頭依田莊吉他1名半詰分切米粉28俵受取の上支給に付) 立岩孝左衛門・中沢忠吾／(奥印)宇敷元之丞／(奥印)吉野芳馬／(奥印)草間一路→磯田音門殿・長谷川三郎兵衛殿・草間一路殿 「当亥」および奥印長谷川三郎兵衛を草間一路に貼紙訂正	文久3年亥6月	縦継紙・1通	ほ23-50

12 藩政／財政／払方御金奉行／金銭請払

(上京入料勘定関係書類綴 文久3年4月～元治元年4月)		紙綴綴・33点	ほ56
御留守居方物書岸田忠左衛門金銭受取証文(道中往来人馬賃銭賄代并京都逗留中旅籠代等品々入料に付) 御留守居方物書岸田忠兵衛／(奥印)玉川一学／(奥印)玉井繁之助／(奥印)柘	元治元年子4月	縦継紙・1通	ほ56-1

ほ 12 藩政/財政/払方御金奉行/金銭請払

植嘉兵衛→御金御奉行所/(奥印)使役/(奥印)勘定役/勘定吟味			
御留守居方物書岸田忠左衛門金銭受取差出証文[覚](三条中納言様御家来御守衛方懸り丹羽出雲守等宛金銭7兩下賜のため目録差出に付) 御留守居方物書岸田忠兵衛→ -	(文久3年)	縦継紙・1通	ほ56-2
御留守居方物書岸田忠左衛門申上書[覚](正六日銀庄内様衆へ差出に付) 御留守居方物書岸田忠左衛門→ -	(文久3年)亥5月14日	縦継紙・1通	ほ56-3
御留守居方物書岸田忠左衛門申上書[覚](登り道中品々入料銭12貫272文差し遣わしに付) 御留守居方物書岸田忠左衛門→ -	(文久3年)	縦継紙・1通	ほ56-4
御留守居方物書岸田忠左衛門申上書[覚](登り道中14泊其外宿々茶代金1兩銭7貫772文支給に付) 御留守居方物書岸田忠左衛門→ -	(文久3年)	縦継紙・1通	ほ56-5
御留守居方物書岸田忠左衛門申上書[覚](京都より御在所迄下り道中品々入料金1分2朱銭13貫772文支給に付) 御留守居方物書岸田忠左衛門→ -	(文久3年)	縦継紙・1通	ほ56-6
御留守居方物書岸田忠左衛門申上書[覚](御在所より帰府道中品々入料金1分2朱銭6貫348文支給に付) 御留守居方物書岸田忠左衛門→ -	(文久3年)	縦継紙・1通	ほ56-7
飛脚問屋京屋儀兵衛金銭受取証文[覚](京都六角海老屋定八行賃銭132文に付) 飛脚問や京屋儀兵衛→岸田忠左衛門様	(文久3年)亥4月24日	堅切紙・1通	ほ56-8
定飛脚問屋京屋儀兵衛金銭受取証文[覚](京都六角辺海老屋定八行賃銭132文に付) 飛脚問や京屋儀兵衛→岸田忠左衛門様	(文久3年)亥4月18日	堅切紙・1通	ほ56-9
谷町三之助金銭受取証文[覚](品川宿迄持出人足銭3貫148文に付) 谷町三之助→上 下ヶ札あり	(文久3年)亥4月27日	堅切紙・1通	ほ56-10
川役林蔵金銭受取証文(川越賃銭263文に付) 川役林蔵→ -	(文久3年)亥4月29日	切紙・1通	ほ56-11
興津川洞村名主兵蔵金銭受取証文(川越賃銭1貫236文に付) 興津川洞村名主兵蔵→ -	(文久3年)亥5月3日	切紙・1通	ほ56-12
間嘉右衛門金銭受取証文[覚](川越賃銭1貫545文に付) (安倍川登り方問屋)間嘉右衛門→ -	(文久3年)5月3日	切紙・1通	ほ56-13
藤枝宿瀬戸川庄屋小左衛門金銭受取渡証文[覚](賃銭960文受取相渡しに付) 藤枝宿瀬戸川庄屋小左衛門→ -	(文久3年)亥5月4日	切紙・1通	ほ56-14
舞坂宿御用達掛塚屋市左衛門金銭受取相渡証文[覚](船賃1貫448文受取り水主へ相渡しに付) 舞坂宿御用達掛塚屋市左衛門→松代様御役人中様	(文久3年)亥5月5日	堅切紙・1通	ほ56-15
舞坂宿掛塚屋市左衛門金銭受取証文[覚](昼旅籠代900文に付) 舞坂宿御用達掛塚屋市左衛門→松代様御役人中様 下ヶ札あり	(文久3年)亥5月5日	堅切紙・1通	ほ56-16
箱根宿御本陣又原源五右衛門[覚](昼賄代1貫文に付) 箱根宿御本陣又原源五右衛門→上 下ヶ札あり	(文久3年)5月朔日	横切継紙・1通	ほ56-17
宮宿美濃屋治助金銭受取証文[船賃銭請取](宮駅より桑名迄の船賃銭5貫864文に付) 宮宿みのや治助→上	(文久3年)5月9日	縦紙・1通	ほ56-18
宮宿美濃屋治助金銭受取証文[船賃銭請取](昼旅籠代900文に付) 宮宿みのや治助→上 下ヶ札あり	(文久3年)5月9日	堅切紙・1通	ほ56-19
島田川分川庄屋定吉金銭受取証文(川越賃銭4貫692文に付) 島田川分川庄屋定吉→ -	(文久3年)い5月4日	切紙・1通	ほ56-20
升屋十吉金銭受取証文(水引代他2貫323文に付) 升屋十吉→上 下ヶ札あり	(文久3年)亥8月	横切紙・1通	ほ56-21
台師市兵衛金銭受取証文[覚](並木地台他代780文に付) 台師市兵衛→上 下ヶ札あり	(文久3年)8月7日	横切紙・1通	ほ56-22
御用達岩田定八金銭受取証文[覚](江戸表へ八日銀差出駄賃他7貫224文に付) (京都)御用達岩田定八→岸田(忠左衛門)	(文久3年)亥8月19日	横切継紙・1通	ほ56-23

様			
海老屋定八金銭受取証文[おほへ](蠟燭代332文に付) (京都)海老や定八→岸田(忠左衛門)様	(文久3年)亥8月	横切紙・1通	ほ56-24
海老屋定八金銭受取証文[覚](旅籠料335貫文に付) (京都)海老屋定八→岸田忠左衛門様	(文久3年)亥8月23日	横切継紙・1通	ほ56-25
佐渡屋八兵衛金銭受取証文[覚](大津先触人足賃他4貫850文に付) 佐渡や八兵衛→上 下ヶ札あり、破損甚大	(文久3年)8月23日	横切紙・1通	ほ56-26
会津屋喜作金銭受取証文[覚](蠟燭20挺代500文に付) 会津や喜作→上 下ヶ札あり	(文久3年)11月7日	切紙・1通	ほ56-27
[宿々旅籠帳](亥4月27日出立～5月12日) 真田信濃守内岸田忠左衛門 品川宿馬持孫四郎金銭受取証文[覚](品川より保土ヶ谷迄馬1疋代4貫516文200文受取につき、4月27付)貼付	(文久3年)4月27日)	横長半・1冊	ほ56-28
[宿々旅籠帳](亥4月27日出立～5月11日) 真田信濃守内岸田忠左衛門 宮宿美濃屋治助金銭受取証文[覚](昼旅籠代1貫200文受取につき、亥5月9日付)貼付	(文久3年)4月27日)	横長半・1冊	ほ56-29
[京都御守衛御用宿々駄賃帳](亥8月23日出立～9月4日) 真田信濃守内岸田忠左衛門 馬借井筒屋宗五郎金銭受取証文[覚](大津へ馬2疋3貫600文受取につき、8月23日付、松代様御役人中様宛)貼付	(文久3年)8月23日)	横長半・1冊	ほ56-30
[宿々旅籠帳](亥8月23日京都出立～9月2日) 真田信濃守内岸田忠左衛門	(文久3年)8月23日)	横長半・1冊	ほ56-31
[宿々駄賃帳](亥11月10日出立～11月17日) 真田信濃守内玉川一学家来福沢伊右衛門	(文久3年)11月10日)	横長半・1冊	ほ56-32
[宿々旅籠帳](亥11月10日出立～11月17日) 真田信濃守内岸田忠左衛門	(文久3年)11月10日)	横長半・1冊	ほ56-33
[品々定法覚](家中勤向道中賄代定法書上) 裏打済		横長半・1冊	ほ55

13 藩政／財政／払方御金奉行／諸事差引勘定

(家中取金諸事差引勘定書類綴)		紙綴綴・11点	ほ1
(詰高より諸事差引勘定書 玉川淀分)		横切紙・1通	ほ1-1
(詰高より諸事差引勘定書 小山田菅右衛門分)		横切紙・1通	ほ1-2
(詰高より諸事差引勘定書 矢野唯美分)		横切紙・1通	ほ1-3
(詰高より諸事差引勘定書 栗山五郎作分)		横切紙・1通	ほ1-4
(詰高より諸事差引勘定書 野村善五右衛門分)		横切紙・1通	ほ1-5
(詰高より諸事差引勘定書 仙道完人分)		横切紙・1通	ほ1-6
(詰高より諸事差引勘定書 三井清美分)		横切紙・1通	ほ1-7
(詰高より諸事差引勘定書 伊東友作分)		横切紙・1通	ほ1-8
(詰高より諸事差引勘定書 加藤了作分) 表裏逆綴		横切紙・1通	ほ1-9
(詰高より諸事差引勘定書 小幡又八郎分)		横切紙・1通	ほ1-10
(詰高より諸事差引勘定書 北沢叔蔵分)		横切紙・1通	ほ1-11
(詰高より諸事差引勘定書 小林友之丞分1分217文)		切紙・1通	ほ4-1
(詰高より諸事差引勘定書 小林友之丞分1分2朱)		切紙・1通	ほ4-2
(家中取金諸事差引勘定書類綴)		紙綴綴・3点	ほ5
(詰高より諸事差引勘定書 間庭一郎左衛門分)		横切紙・1通	ほ5-1

ほ 13 藩政／財政／弘方御金奉行／諸事差引勘定 14 藩政／財政／奥向賄／拝借金

(詰高より諸事差引勘定書 河原頼助分)		横切紙・1通	ほ5-2
(詰高より諸事差引勘定書 樋口與兵衛分)		横切紙・1通	ほ5-3
(家中取金諸事差引勘定書類綴)		紙繕綴・9点	ほ6
(詰高より諸事差引勘定書 小野喜平太他7名分) - →大鳥 義左衛門殿		横切紙・1通	ほ6-1
(詰高より諸事差引勘定書 小野喜平太分)		横切紙・1通	ほ6-2
(詰高より諸事差引勘定書 奥山伴助分)		横切紙・1通	ほ6-3
(詰高より諸事差引勘定書 草間一路分)		横切紙・1通	ほ6-4
(詰高より諸事差引勘定書 磯田音門分)		横切紙・1通	ほ6-5
(詰高より諸事差引勘定書 飯島平助分) 朱書「大」		横切紙・1通	ほ6-6
(詰高より諸事差引勘定書 中村元尾分) 朱書「大」		横切紙・1通	ほ6-7
(詰高より諸事差引勘定書 鹿野伴治分) 朱書「大」		横切紙・1通	ほ6-8
(詰高より諸事差引勘定書 飯島楠左衛門分) 朱書上に貼紙 朱書「大」		横切紙・1通	ほ6-9

14 藩政／財政／奥向賄／拝借金

(拝借証文綴 宝永5年8月～9月)		紙繕綴・57点	ほ2
宮嶋友之進拝借金証文[覚](熱海湯治供奉金3両に付) 宮嶋 友之進→木内清八殿	宝永5年戊子8月10日	堅切紙・1通	ほ2-1
荒川造酒拝借金証文[拝借申金子之事](熱海湯治供奉金3両 に付) 荒川造酒→木内清八殿	宝永5年子8月10日	堅切紙・1通	ほ2-2
一場権左衛門拝借金証文(熱海湯治供奉金3両に付) 一場権 左衛門→木内清八殿	宝永5年子8月10日	堅切紙・1通	ほ2-3
十河半蔵拝借金証文[御拝借金之事](熱海湯治のため3両に 付) 十河半蔵→木内清八殿	宝永5年子ノ8月10日	堅切紙・1通	ほ2-4
中俣三左衛門拝借金証文[証文御事](熱海湯治供奉金3両に 付) 中俣三左衛門→木内清八殿 裏打済	宝永5年子ノ8月10日	堅紙・1通	ほ2-5
樋口伝八拝借金証文[証文之事](熱海供奉金3両つき) 樋口 伝八→木内清八殿	宝永5年子8月10日	堅紙・1通	ほ2-6
徳田吉十郎拝借金証文(3両に付) 徳田吉十郎→木内清八殿 裏打済	宝永5年子ノ8月10日	堅切紙・1通	ほ2-7
平林次郎八拝借金証文[証文之事](3両に付) 平林次郎八→木 内清八殿	宝永5年子8月10日	堅紙・1通	ほ2-8
中村周庵拝借金証文[証文之事](3両に付) 中村周庵→木内清 八殿 裏打済	宝永5年子8月10日	堅切紙・1通	ほ2-9
渋谷養説拝借金証文[証文之事](3両に付) 渋谷養説→木内清八 殿	宝永5年戊子8月10日	堅切紙・1通	ほ2-10
前嶋介之進拝借金証文(熱海湯治供奉金3両に付) 前嶋介之 進→木内清八殿	宝永5年子ノ8月10日	堅切紙・1通	ほ2-11
池村佐左衛門拝借金証文(熱海湯治供奉金3両に付) 池村佐 左衛門→木内清八殿	宝永5年子8月10日	堅切紙・1通	ほ2-12
小川武右衛門拝借金証文[拝借金之事](2両に付) 小川武右 衛門→木内清八殿	宝永5年子ノ8月10日	堅切紙・1通	ほ2-13
樋口専右衛門拝借金証文(熱海湯治供奉金2両に付) 樋口専 右衛門→木内清八殿	宝永5年子ノ8月10日	堅切紙・1通	ほ2-14